



オンライン社内試験でのカンニング・予備軍を含めた割合は？

通常調査 | オンライン社内試験でのカンニング

24.3%が「カンニングを考えた」経験あり、
22.5%は「実際にカンニングをした」実態も！



オンライン社内試験のカンニングに対する意識調査

調査期間：2024年5月1日～同年5月1日

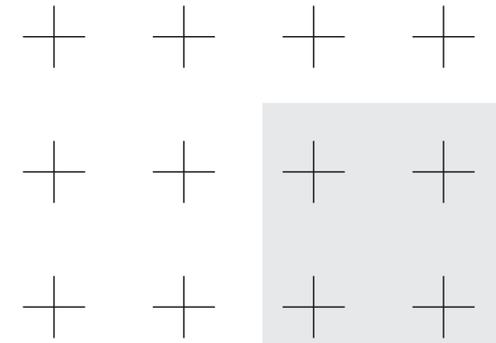


株式会社イー・コミュニケーションズ
e-communications, Inc.

Copyright © e-communications, Inc.

調査概要

Research Outline



・調査実施者

株式会社イー・コミュニケーションズ

・調査概要

オンライン社内試験のカンニングに対する意識調査

・調査方法

IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画によるインターネット調査

・調査期間

2024年5月1日～同年5月1日

・有効回答

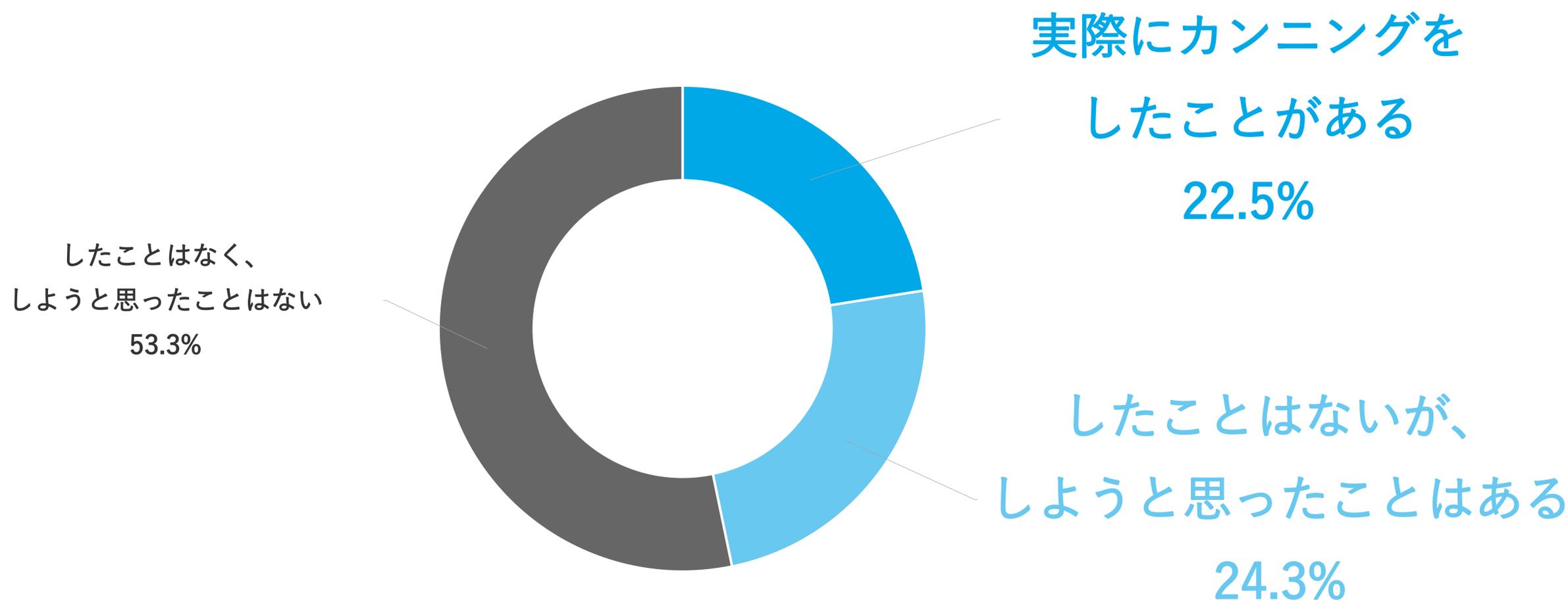
3年以内に社内試験をオンライン受験したことのある会社員400名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。



Q1

あなたは、オンライン社内試験の受験において、カンニングをしようと思ったことがありますか。

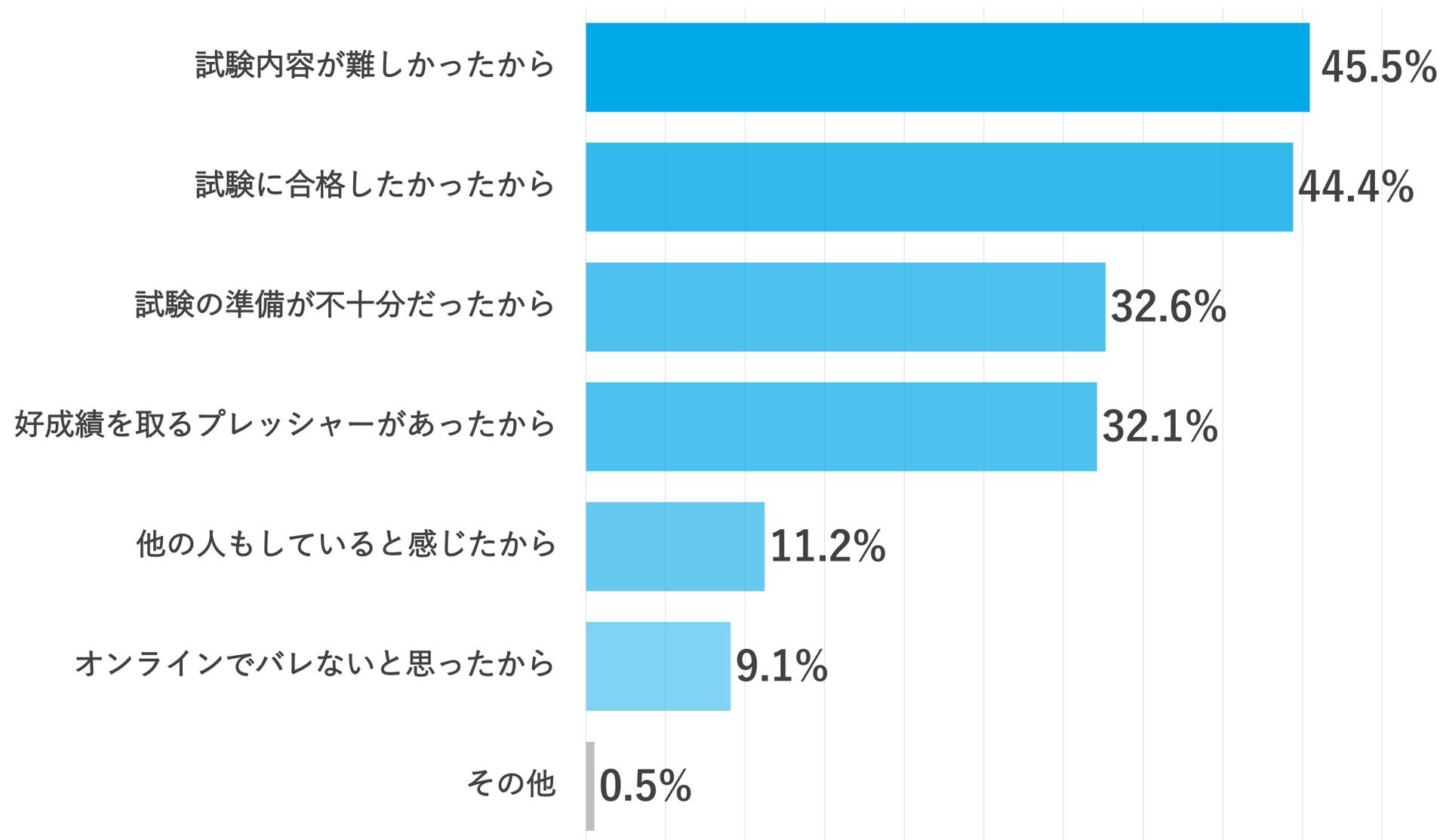


オンライン社内試験の受験で、**22.5%**が「実際にカンニングをしたことがある」と回答しました。

Q2

Q1で「実際にカンニングをしたことがある」「したことはないが、しようと思ったことはある」と回答した方にお聞きします。

オンライン社内試験の受験において、カンニングをしようと思った理由を教えてください。（複数回答）



カンニングをしようと思った理由に、「試験内容が難しかったから」や「試験に合格したかったから」などがあがりました。

Q3

Q2で回答した以外に、オンライン社内試験の受験において、カンニングをしようと思った理由があれば、自由に教えてください。
(自由回答)

<自由回答・一部抜粋>

39歳

実運用のスキルと試験内容に乖離があるが、資格として保有する必要があるから。

43歳

合格するまで終わらないから。

41歳

答えが分かっているならいいと思ったから。

50歳

同じ問題が出題されるから。

44歳

再試験がめんどくさいから。

57歳

良い成績を取ることで優秀な人材だと思われたいという浅はかな考えがあったが、やめた。

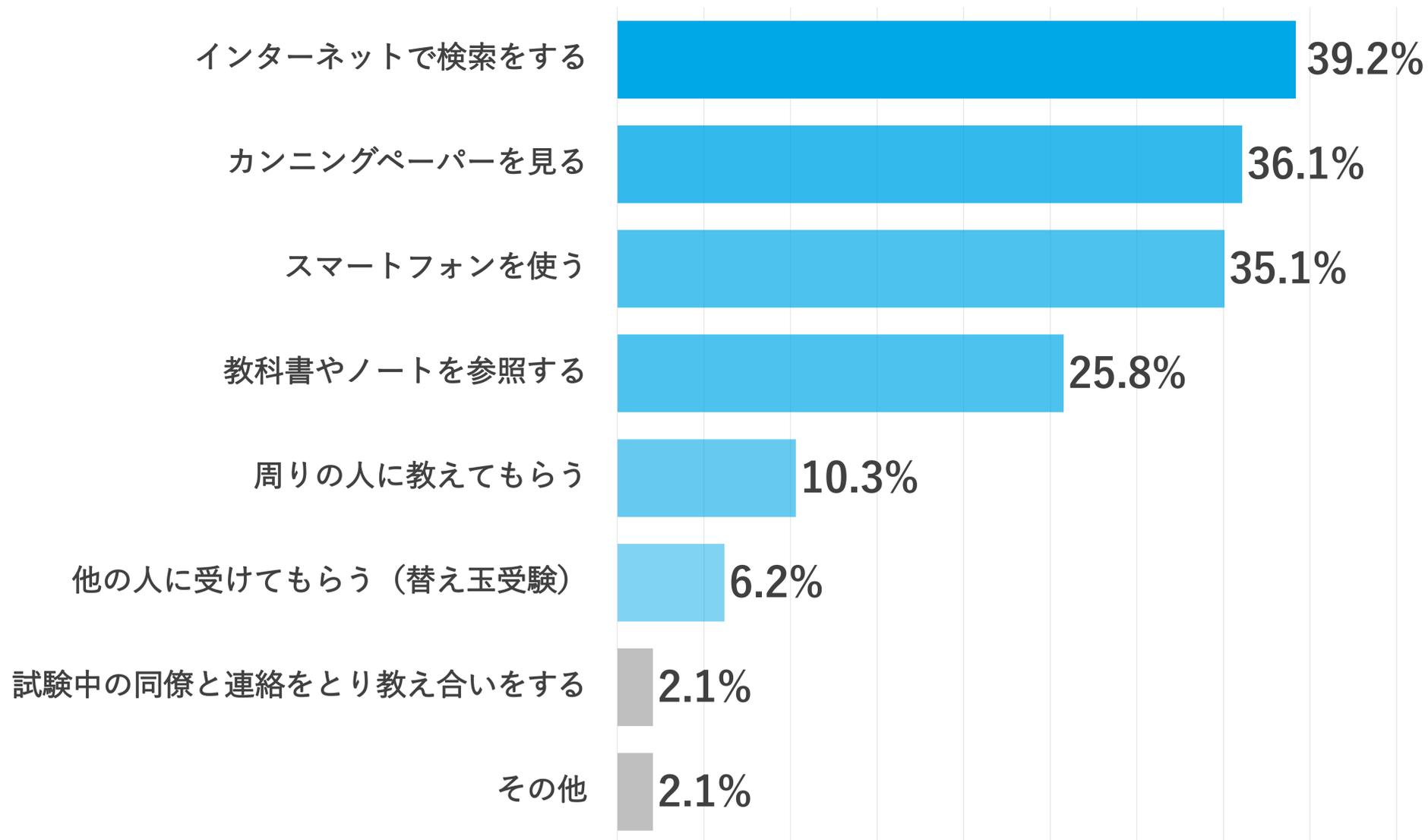
57歳

落ちたら恥ずかしいので、なんとしても合格したかったから。

Q4

Q1で「したことはないが、しようと思ったことはある」と回答した方にお聞きします。

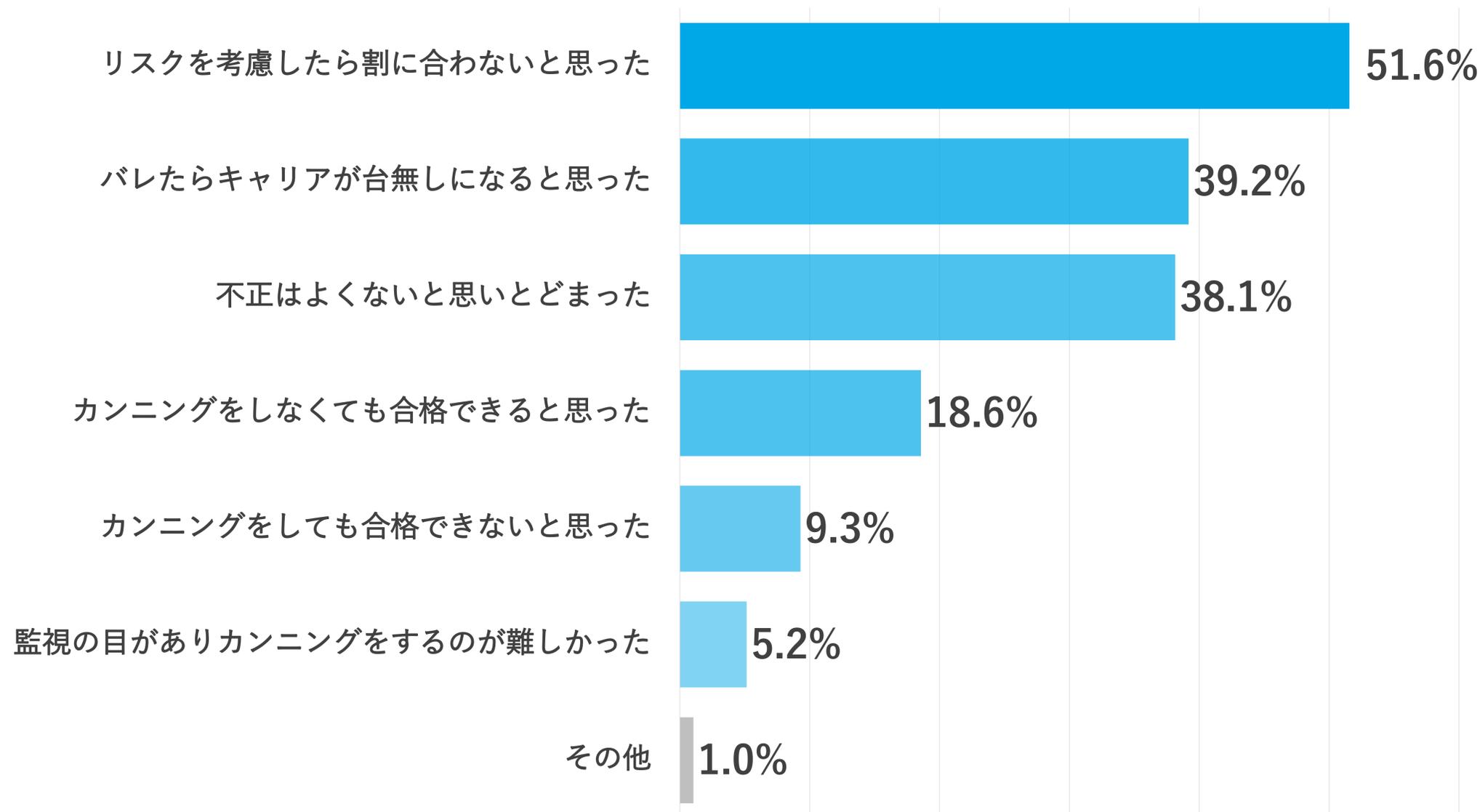
あなたは、どのような方法でカンニングをしようと思いましたか。
(複数回答)



カンニングをしようと思ったことがある人が、考えたカンニングの方法は、「インターネットで検索をする」が39.2%で最多となりました。

Q5

Q1で「したことはないが、しようと思ったことはある」と回答した方にお聞きします。
実際にはカンニングをしなかった理由を教えてください。（複数回答）

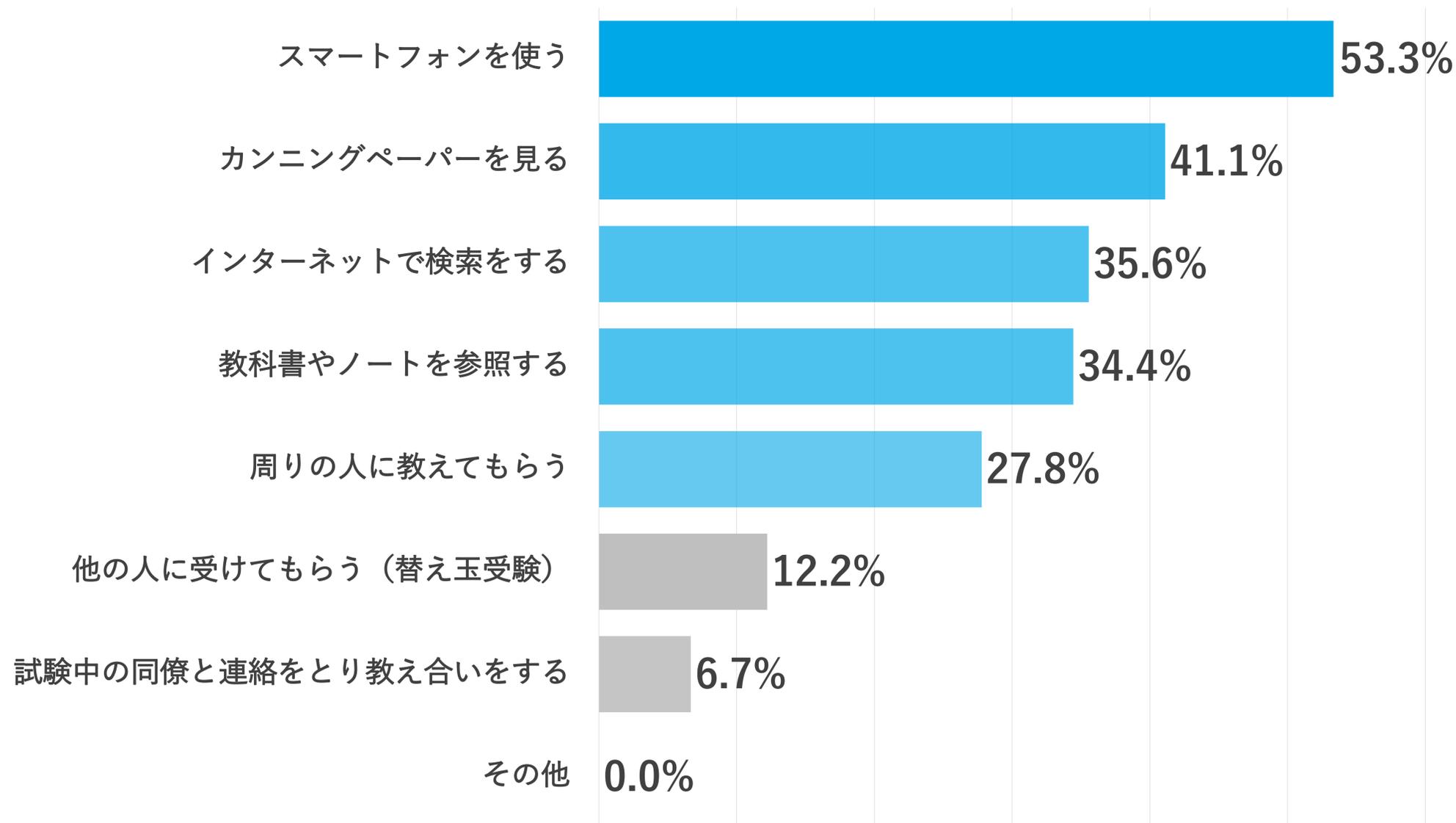


約半数が、カンニングしなかった理由として、「**リスクを考慮したら割に合わないと思った**」と回答しました。

Q6

Q1で「実際にカンニングをしたことがある」と回答した方にお聞きします。

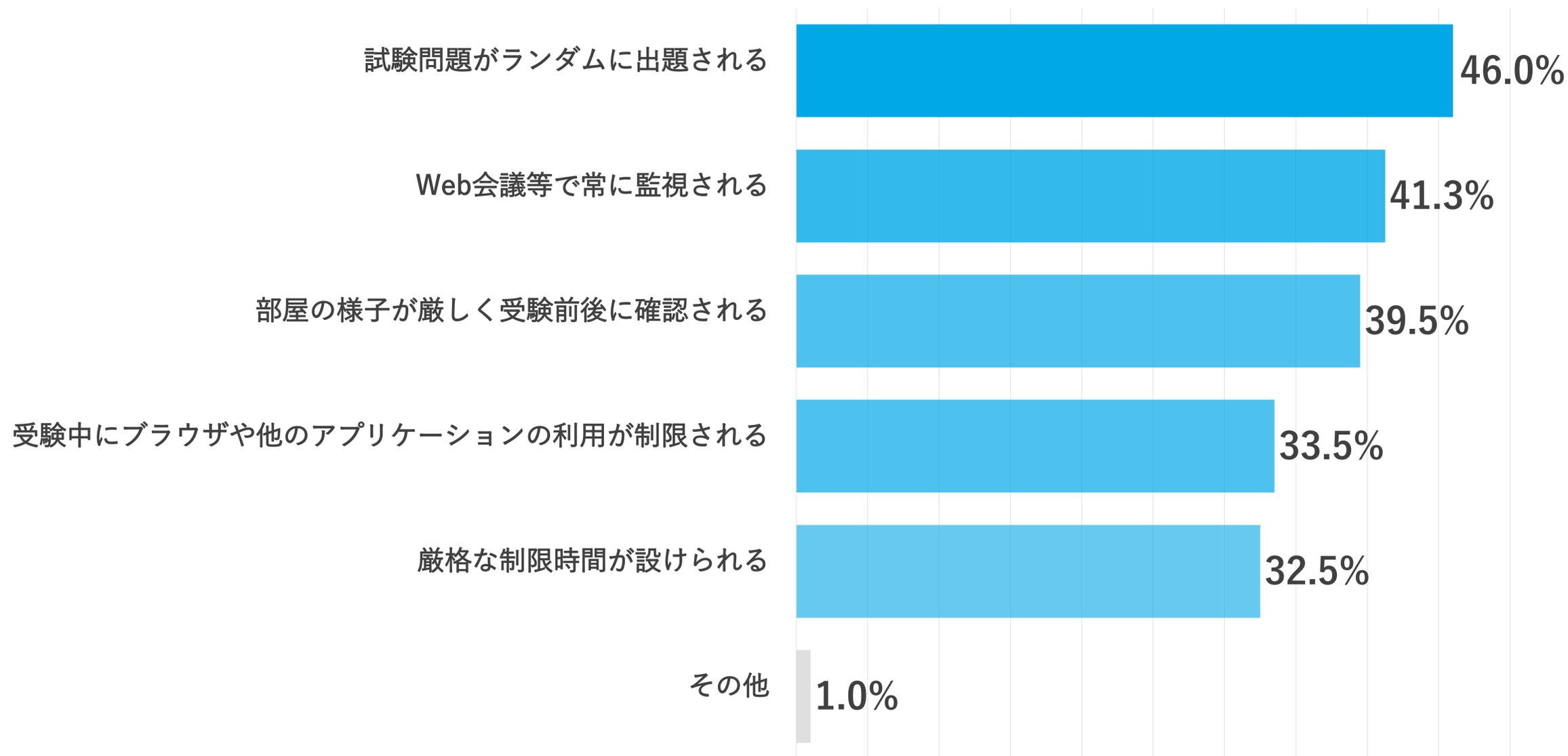
どのような方法でカンニングをしましたか。（複数回答）



実際に行ったカンニングの方法は、
「スマートフォンを使う」が53.3%で最多となりました。

Q7

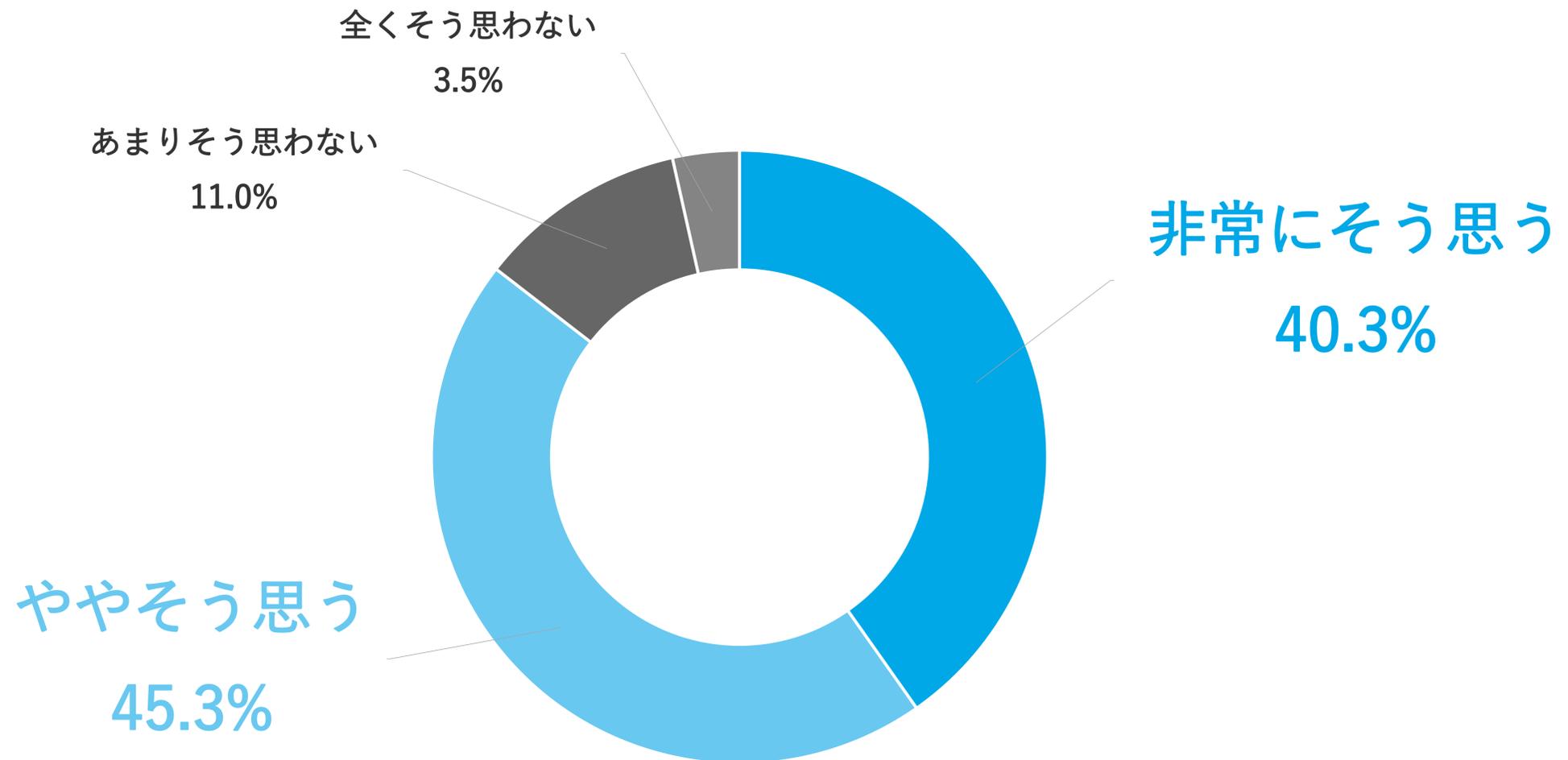
受講者の立場から、オンライン試験中のカンニングを防ぐために効果的だと思う対策があれば教えてください。（複数回答）



オンライン試験中のカンニングを防ぐために効果的だと思う対策は、「試験問題がランダムに出題される」や「Web会議等で常に監視される」が上位になりました。

Q8

あなたは、Webカメラで受験者を録画し、その動画をAIが解析して不正な行動を検知する、試験専用のAIを活用した「リモート監視」の導入が、オンライン試験のカンニング防止に有効だと思いますか。

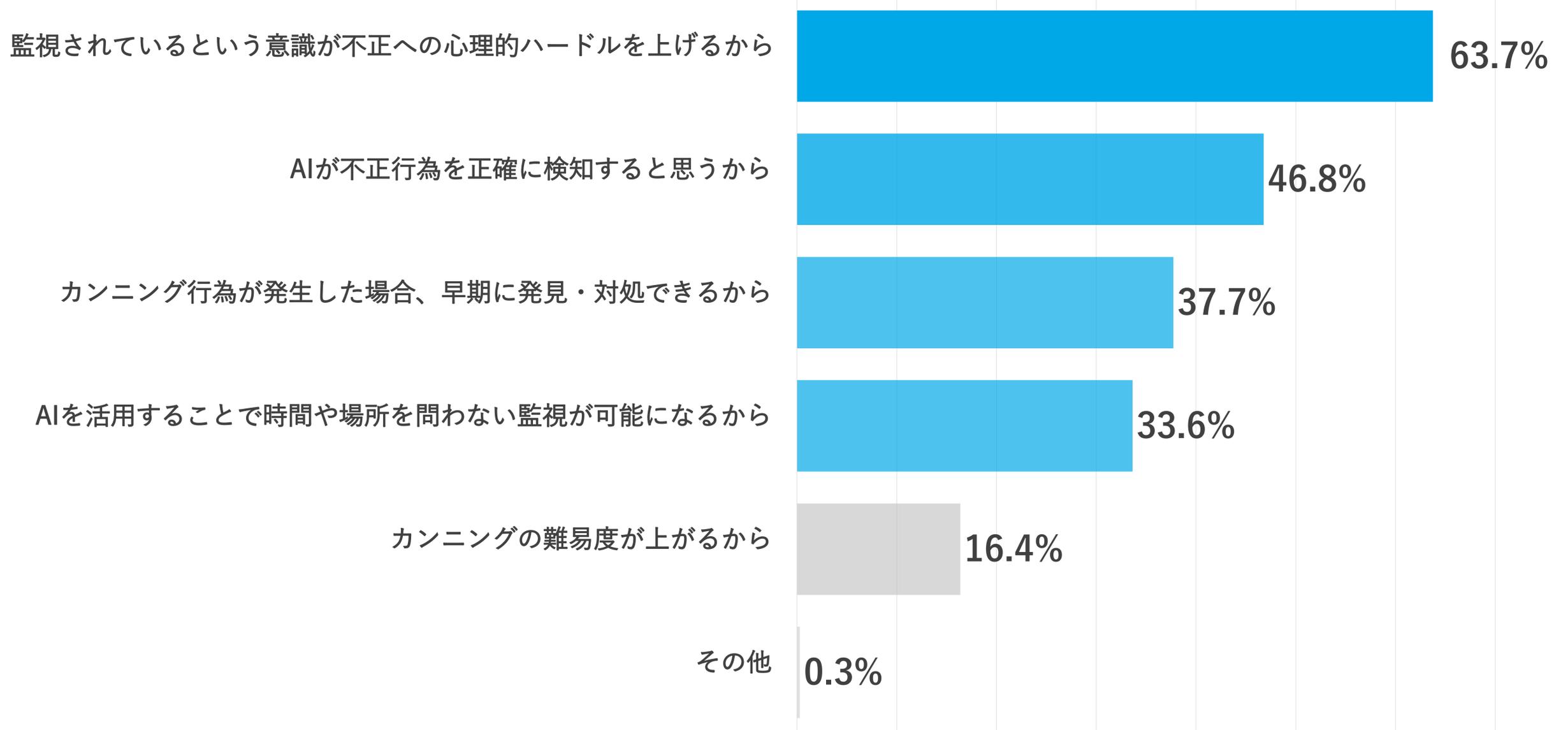


85.6%が「『リモート監視』がオンライン試験のカンニング防止に有効だと思う」と回答しました。

Q9

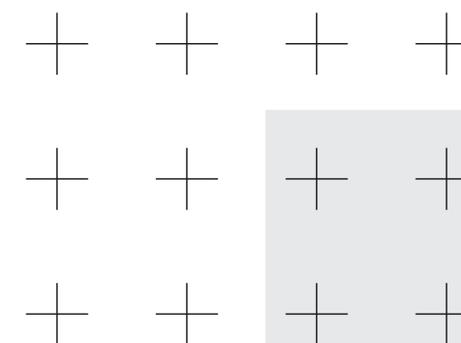
Q8で「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。

試験専用のAIを活用した「リモート監視」の導入が、オンライン試験のカンニング防止に有効だと思う理由を教えてください。（複数回答）



「リモート監視」が有効だと思う理由は、「監視されているという意識が不正への心理的ハードルを上げるから」が63.7%で最多となりました。

オンラインテストの不正を抑止。 新たな受験環境を提供する「Remote Testing」とは



「Remote Testing」とは、オンラインテストの不正を抑止し、新たな受験環境を提供できるリモート監視サービスです。オンラインテストを厳正・厳格に行える試験専用のAIを活用したリモート監視ソリューションで、オンラインテストに「Remote Testing」を加えることで、会場型CBTと同等の受験環境をご提供します。

Webカメラで受験者を録画、録画された動画をAIが自動解析し、不正と思われる挙動を検知するなど、受験時の不正抑止・防止が可能です。



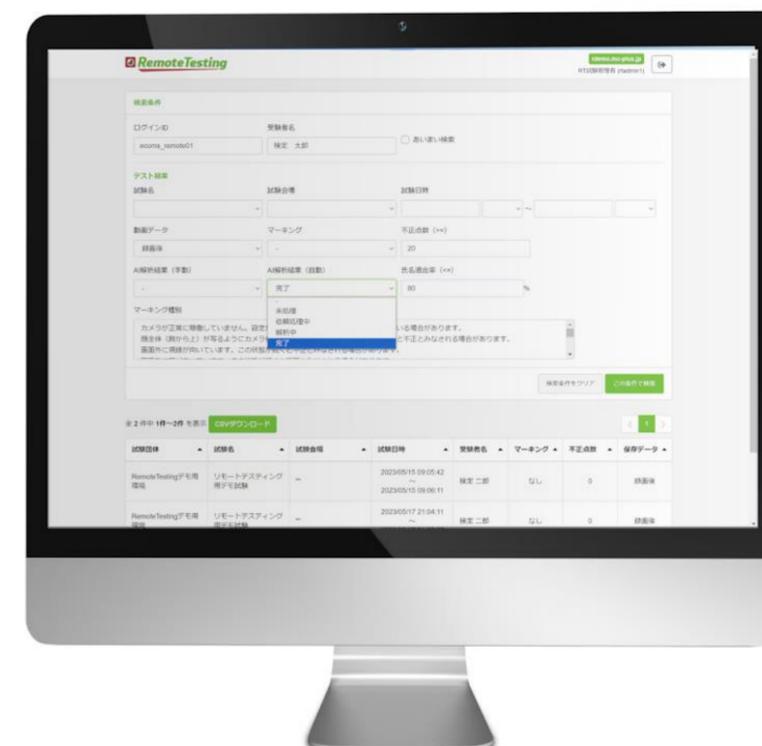
オンラインテストの不正を抑止。 新たな受験環境を提供する。

動作環境はこちら >

お問い合わせ >

発表会のレポートはこちら >

定期メンテナンススケジュール >



当社IBTシステム「MASTER CBT PLUS」と標準連携しているため、オンラインによるリモート型CBTがすぐに始められ、リモート受験環境をすばやくご提供することができます。

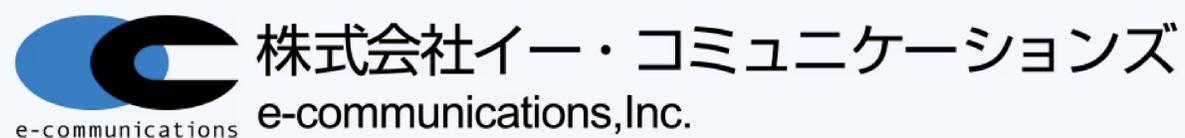
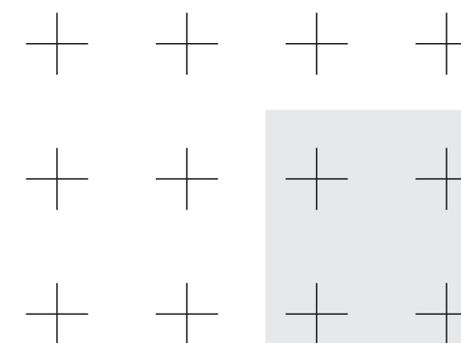
また、これまでの導入実績から、運用の設計や、導入もご支援いたします。

一斉試験は同時5,000まで対応が可能のため、オンラインテストで社内試験の同日同時刻実施ができ、同時に不正を防止することができます。また、テストセンター型CBTの申込時に、リモート受験を選択できるため、受験者に多くの受験環境を提供することができます。

詳しくはこちら：<https://www.e-coms.co.jp/business/remote-monitoring>

お問い合わせ

Contact



・ 企業名

株式会社イー・コミュニケーションズ

・ TEL

03-3560-3901

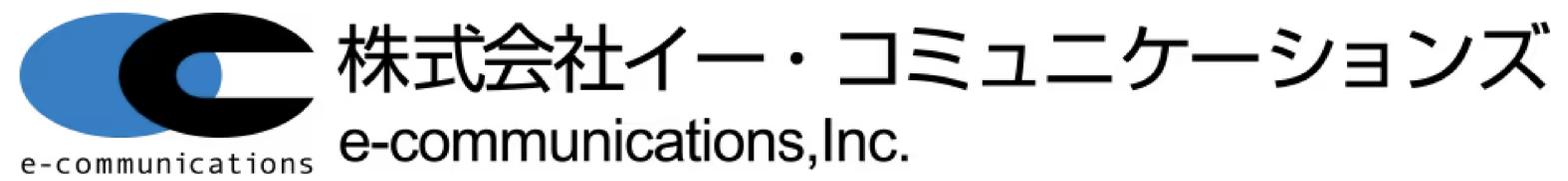
・ WEB

<https://www.e-coms.co.jp/>

・ 会社住所

〒106-0032

東京都港区六本木7-15-7 新六本木ビルSENQ六本木704



株式会社イー・コミュニケーションズ

e-communications, Inc.